

WiFi付ガスセンサ

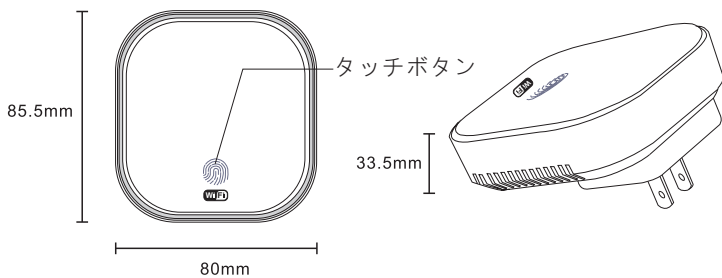


Tuya smart app

TuyaをApp Storeで検索し、
およびダウンロードと使用

商品特長

本製品は、WiFi付接触燃焼式ガスセンサです。天然ガス、LPガス、石炭ガス、メタン、プロパンなど、さまざまな可燃性ガスの濃度と漏れを検出に使用する検知器です。内蔵のアラームは高度な設計技術を採用しており、安定性、信頼性、迅速な応答、美しい外観、スマートなアプリ機能などを持ち。家庭、倉庫、ホテル、企業、学校、病院、レストランなどさまざまな場所で使用でき、これらの場所でガスレベルを監視し、ガス漏れが検出された場合、ローカルで点滅や音声警告が行われ、すぐにアプリに警告通知が送信されます。



WiFiとペアリングする

1. App Storeで「Tuya Smart」アプリをダウンロードし、アカウントを登録してください。

注意: 携帯電話番号で登録することをお勧めします。WeChatまたはメールで登録すると、アプリアラートが適時に送信されない場合があります。

2. 携帯電話のBluetoothと位置情報をオンにし、Wi-Fiに接続してください。--- アプリを開いて右上隅の「+」をクリック --- 近くのデバイスを自動検索 --- デバイスを電源に入れてください --- ウォームアップ状態でバイカラーLEDが点滅するまでタッチボタンを長押ししてください --- デバイスを見つける --- デバイスを追加 --- Wi-Fiパスワードを入力 (すでにWi-Fiに接続している場合、このステップはスキップできることがあります) --- 次へ --- OK --- デバイスのメイン画面に入ってください。

商品概要

本製品は、WiFi付接触燃焼式ガスセンサです。天然ガス、LPガス、石炭ガス、メタン、プロパンなど、さまざまな可燃性ガスの濃度と漏れを検出に使用する検知器です。内蔵のアラームは高度な設計技術を採用しており、安定性、信頼性、迅速な応答、美しい外観、スマートなアプリ機能などを持ち。家庭、倉庫、ホテル、企業、学校、病院、レストランなどさまざまな場所で使用でき、これらの場所でガスレベルを監視し、ガス漏れが検出された場合、ローカルで点滅や音声警告が行われ、すぐにアプリに警告通知が送信されます。

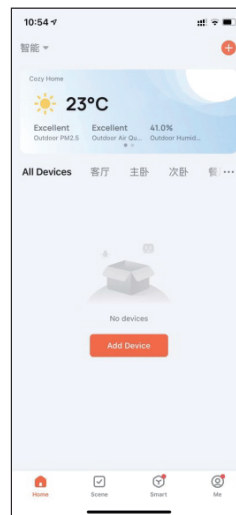
パラメータ

電源供給:	110-240VAC
消費電力:	<1w
ウォームアップ時間:	差し込んだ後の180秒
スタンバイ:	青いLEDは10秒ごとに1回点滅
動作温度:	-10°C ~ 60°C
動作湿度:	0% ~ 95%RH
ガス警告レベル:	1500PPM、3%LEL
ガスアラームレベル:	3500PPM、7%LEL
深刻なガスアラームレベル:	5000PPM、10%LEL
アプリの検出間隔:	10秒
警報音のレベル:	85db
赤いLED:	アラーム
青いLED:	ウォームアップ、スタンバイ
紫色のLED:	ペアリング
検出範囲:	ガス源から1.5m離れた場所 (半径)

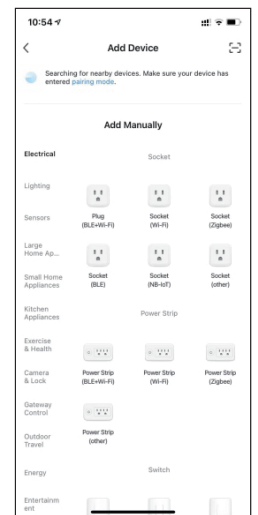
設置高さ: LPガスは空気よりも重いいため、地面から約0.3メートルの高さに設置してください。

天然ガスは空気よりも軽いいため、地面から1.5メートル以上の高さに設置してください。

1

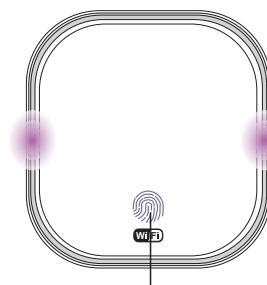


Wi-Fiに接続したら、アプリにログインしてデバイスを追加してください。



近くの Bluetooth デバイスを検索してください

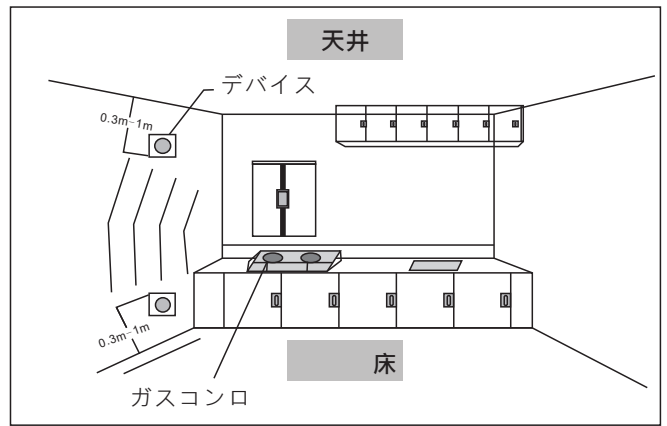
デバイスの操作



タッチボタン

ペアリング操作
デバイスを電源ソケットにさしこんでください --- 3分間のウォームアッププロセス中にタッチボタンを長押ししてください --- バイカラーLEDが点滅したらボタンを離してください --- デバイスはペアリングモードに入ります。

設置図



設置の注意点：

LPガスを検出する場合、床から0.3-1m (3-8フィート)の高さに設置してください。LPガスは空気よりも重く、下に沈むため、潜在的なガス漏れの場所から半径1.5m以内に設置してください。
石炭ガス、天然ガス、またはメタンガスを検出する場合、天井から0.3-1m (3-8フィート)の高さに設置してください。石炭ガス、天然ガス、またはメタンガスは空気よりも軽く、上昇するため、潜在的なガス漏れの場所から半径1.5m以内に設置してください。詳細については上記の図を参照してください。

製品の機能説明

1. ウォームアップ状態
ガスセンサを使用する前に、内部センサを加熱して化学反応を起こし、検出の安定性と信頼性を確保します。この状態をウォームアップ状態と呼びます。電源ソケットに差し込んだ後、3分間ウォームアップ状態になり、この期間中に青いLEDがゆっくり点滅し、音声プロンプトが表示されます。

注意事項

1. デバイスの電源のオン/オフに関係なく、高濃度のガスが長期間デバイスの内部センサーの特性に影響を与えますので、デバイスの内部センサーに直接ライターガスを噴射しないでください。高濃度の純粋なガスはセンサーに大きな損傷を与える可能性があります。
2. 本製品には防水および防火設計がありません。水に投げたり、雨の日、極端な高温または低温環境で屋外で使用しないでください。これにより短絡と発火が発生する可能性があります。子供やペットの手の届かない場所に設置して、不必要な感電の危険を回避してください。
3. 製品内部には高電圧回路があり、無断で非専門家が機械を分解することは厳禁であり、不必要な事故のけがを防ぐために基本的な安全対策を常に守るべきです。
4. 単一のデバイスでは、広範囲および風通しの良い環境で警告を提供するのに十分でないことがあります。警報が発生した場合は注意が必要あり、正しい警報の使用に加えて、安全意識も高めるべきです。
5. 機器は定期的に点検および保守が行われるべきです。一定の間隔で警報がトリガーされ、WIFIの切断と警報の正常な動作が確認されるべきです。
6. デバイスがWi-Fiに接続されている限り、どこからでもデバイスを監視できます。電源がオフになった後、デバイスは自動的にWi-Fiに再接続し、再開します。再ペアリングの必要ありません。

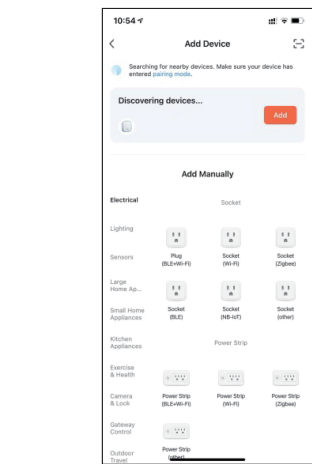
モバイルプッシュの設定 (重要)

iPhone: 設定 - 通知 - tuya smartアプリを見つけて通知を許可

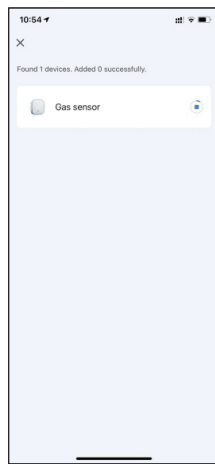
Xiaomi: 設定 - 通知およびステータスバー - 通知管理 - tuyaアプリを見つけてさまざまな通知を許可 - 設定に戻る - 許可設定を見つけてアプリの自動開始を許可

Huawei: 設定 - 通知およびステータスバー - 通知管理 - tuyaアプリを見つけてさまざまな通知を許可 - 設定に戻る - 認証管理を見つけてtuyaアプリの権限 - 自動起動管理 - 自動起動を許可

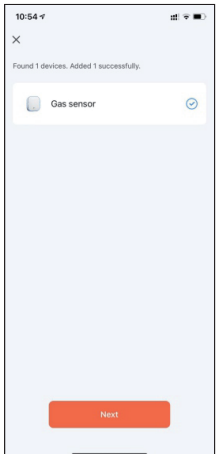
OPPO/VIVO モバイル: 電話の設定 - ステータスバーおよび通知 - 通知の管理 - tuyaアプリを見つけてさまざまなプッシュを許可 - 設定に戻る - 認可管理を見つけてtuyaアプリを探し、自己起動を許可
他の携帯電話の設定は基本的に同じです。



アプリ内でデバイスを検索 -- 「Add」をクリック



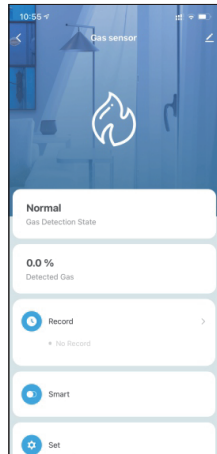
デバイスを追加



追加成功されました、「Next」をクリックしてください



追加成功されました、「Ok」をクリックしてください



機器のメイン画面

2. 早期警告状態

ガスセンサは、ガス濃度が1500PPM (3%LEL) を超えると、早期警告状態に入ります。この時、センサは点滅し、音声を鳴らし、ユーザーのモバイルに警告通知をプッシュします。ガス濃度が減少するまで警告が続きます。

3. アラーム状態

ガスセンサがガス濃度が3500PPM (7%LEL) を超えると、アラームが鳴ります。音が鳴り、赤いLEDが点滅し、ユーザーにアラームメッセージをプッシュします。ガス濃度がこの高いレベルを保持し続けると、警報音と点滅が続きます。

4. デバイスをサイレンスにする

デバイスがアラーム中の場合、タッチボタンを押してアラーム音をキャンセルするか、アプリを開いてデバイスアイコンをクリックしてインターフェースに入り、消音をクリックしてください (赤いLEDは点滅し続けます)。

5. デバイスを複数の人と共有する

Tuyaアプリを開き、デバイスアイコンをクリックしてインターフェースに入り、右上隅にある「/」をクリックし、Share the device (デバイス共有) を選択し、他のTuyaアカウントを追加してください。

6. 各デバイスを区別する方法

アプリを開いて、デバイスアイコンをクリックしてインターフェースに入り、右上隅にある「/」をクリックし、Change device name (デバイス名を変更) を選択してください。それから、アラームが鳴ると、変更されたデバイス名でメッセージがプッシュされます。

デバイスのペアリングの注意事項

1. デバイス、モバイル、およびルーターができるだけ近いことを確認してください。
2. Wi-Fiブロードキャストがオンで、非表示になっていないことを確認してください。
3. ルーターの暗号化がWPA2-PSKで、認証タイプがAESに設定されているか、両方を自動に設定してください。ワイヤレスモードは11nのみに設定しないでください。
4. ルーターに接続されているデバイス数が上限に達した場合、デバイスを無効にしてチャンネルを開けてみてください。
5. ペアリングが繰り返し失敗する場合、別の電話をホットスポットとして使用してみてください。電話を他の電話のホットスポットに接続し、その後ペアリングプロセスを繰り返してみてください。動作する場合、デバイスは正常に動作していることを意味します。自宅のルーターをリセットし、ペアリングをもう一度試してみてください。